

新聞とことば

報道のことばと表現



関根 健一
 (読売新聞東京本社 紙面審査委員会用語幹事)

講師プロフィール

1982年入社、2005年から現職。教育面に「なぜなに日本語」を連載中。著書に『ちびまる子ちゃんの似たもの漢字教室』(集英社)、『笑う敬語術』(勁草書房)、『日本人が必ず間違う日本語』(宝島社)。文化審議会国語分科会委員。

毎年、文化庁では「国語に関する世論調査」を行っています。結果が発表されると、本来の意味で使っている人の方が少ない慣用句などが話題を呼び、「正しい日本語」への関心が高まります。

しかし、その意味や表記が正しいかどうか、簡単には決めかねる場合も少なくありません。時代とともに意味が変わっていったり、同じ意味でも異なる表記が幾つかあったりします。何を基準にするかによっても正しさの見極め方は違ってきます。

「報道のことばと表現」は、そんな揺れ動く「正しさ」をどう追求してきたか——今と昔の新聞を見比べながら、奮闘の歴史と現状を紹介します。

定員
100名
 事前申込不要

参加費
無料

日時 **11月30日(土)**
 13:00~14:30

会場 **聖徳大学10号館14階**

千葉県松戸市松戸1169
 JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

後援 **松戸市教育委員会、市川市教育委員会、
 柏市教育委員会、取手市教育委員会**

<次回講演のお知らせ>

12月7日(土) 13:00~14:30

「世相を映すことば」 前田 安正 (朝日新聞東京本社 編成局校閲センター長)

お問い合わせ ▶▶▶

聖徳大学言語文化研究所 (知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話：047-365-1111 (大代表)

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/gengo/>

